

変形菌

森の中には見えない生き物がたくさんいます。変形菌の仲間もそのうちの一つです。

変形菌は菌類でも細菌類でもありません。いつもは見えないところで細菌などを捕食していますが、十分生長すると、見えるところに出てきて、特徴のある「子実体」を作り、胞子を飛ばします。子実体は小さなものですが、十分目に見える大きさです。

梅雨の後半には、多くの変形菌が子実体を作るので、観察のチャンスです。小型のキノコは変形菌の子実体と似ていますが、変形菌はつぶれやすく、キノコは触ってもつぶれません。



子実体を作ったムラサキホコリ類



胞子を飛ばした後



左のものとは別種のムラサキホコリ類



ホソエヌカホコリ



タマツノホコリ



ツノホコリ



ススホコリ類



ウツボホコリ



シロジクモジホコリ



変形菌はどこにでもいます。移動しながら細菌類を食べて生長しているときは、一定の形を持たないアメーバのような「変形体」となっています。運が良くと、変形体から形の決まった子実体を作る途中に出会うことがあります。



移動してきて子実体を作り始めたところ

